

～森林組合だより～

令和5年度通常総会開催

去る2月27日（月）に、令和5年度通常総会が新十津川町ゆめりあ生甲斐ホールで開催されました。通常総会は昨年と同様、コロナ禍において、来賓の出席をお断りし、組合員各位には書面議決での議決権行使のご協力をお願いすることとなりました。当日の出席者は本人出席35名、委任出席23名、書面議決456名で出席者合計514名（出席率59%）でした。通常総会では令和4年度事業報告書、令和5年度事業計画書他、9議案が原案通り承認されました。（総会資料参照）



令和5年度 通常総会の様子（議長 新十津川町 有馬権司氏）

通常総会の大窪組合長の開会挨拶（全文）は以下の通り

令和5年度そらち森林組合通常総会開催にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

本日は何かとご多用の中、組合員の皆様方におかれましては、遠方よりご出席いただき、誠にありがとうございます。また組合運営につきましても深いご理解とご支援を賜わり、衷心より厚くお礼申し上げます。令和2年1月から続いております新型コロナウイルス感染につきましては、収束の見通しが見えない状況となっておりますが、昨年11月に国の新型コロナウイルス感染症対策本部から、「行動制限緩和」の方針が決定され、日常生活や経済社会活動が徐々に回復の方向に向かってきております。しかしながら、感染防止対策に引き続き取り組むことが必要との判断から本日の通常総会は、昨年に引き続きご来賓の方々にはご出席を控えていただいた開催といたしました。

さて、令和4年度は、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー資源や穀物等の高騰、輸入材の減で国産材価格の上昇、更には燃料価格や運送費の高騰など、林産業に対する影響が危惧されましたが、造林、下刈り、間伐等の補助事業を始め、販売事業、林産事業など、関係機関のご指導並びに組合員各位の深いご理解とご協力を賜わり、積極的に事業を進めた結果、当初計画を上回る実績となり、健

全な組合運営を継続することができ、令和4年度決算におきましては、税引前当期純利益1,601万円を計上することができました。

森林の多面的機能を発揮させるため、造林、下刈り、間伐等によって健全な森林の育成について、森林組合に課せられた期待は年々高まっており、当組合としても、その期待に応える責任は大きく、各種補助事業を活用した森林整備をはじめ、森林環境譲与税を財源とする各市町の取り組みに対しても連携して、森林所有者様の期待に応えるよう、積極的に取り組んで参ります。次に、林業における労働災害については、他の産業に比べて多く、特に伐採作業中の死亡災害が高い割合を占めております。全国的に見ますと、作業の経験年数や熟練に関係なく事故が発生しており、ひとたび大きな事故になりますと、取り返しのつかない状況になりかねません。当組合では、請負事業者に対する安全大会を毎年実施しており、常に安全作業の徹底を呼び掛けており、今日まで大きな災害は発生しておりませんが、これからも気を緩めることなく、安全衛生教育に努めて参ります。

本日は、令和4年度事業報告及び収支決算報告並びに令和5年度事業計画、定款等の一部改正など9議案を提案させていただきましたので、ご審議いただき、ご承認賜りますようお願い申し上げ開会のご挨拶といたします。本日のご出席、誠にありがとうございます。

総会審議終了後、鳥獣害被害に対する対策への要望や不法投棄防止対策への提案などもありました。答弁では関係機関と連携した中で、具体的に取り組むことを確認いたしました。

木材市況について

ロシアによるウクライナ侵攻が長期に及んでおり、その影響が国内外の物価高、資源高騰の影響に加え、輸入材の供給不足から国産材の需要が高まる中、経済の見通しの不安から、住宅建設着工の減少が顕著となってきており、今後の木材市況が懸念されます。一方、国が推進するゼロカーボン、SDGs、バイオマス発電など、新たな展開に期待が寄せられています。しかし、世界的な経済動向、紛争などから、木材の安定供給に向け、国産材の原木の利用拡大に系統一丸となって連携し、新たな供給先の開拓を強化して参ります。

原木・工場着^{m³}

(単位:円)

素材	規格	日付	12~13cm	14~18cm	20cm以上
カラマツ素材	2.2~2.4m	令和4年10月24日市況	9,000	10,300	11,500
		令和5年 2月20日市況	9,000	10,300	11,500
		対比	0	0	0
	3.65m	令和4年10月 4日市況	11,300	13,000	15,500
		令和5年 2月20日市況	11,300	13,000	15,500
		対比	0	0	0
トドマツ素材	3.65m	令和4年10月24日市況	11,000	12,000	14,000
		令和5年 2月20日市況	11,000	12,000	14,000
		対比	0	0	0

原木・工場着^{m³}

(単位:円)

パルプ材	日付	カラマツ	トドマツ	広葉樹
	令和4年10月24日市況	6,500	6,500	8,500
	令和5年 2月20日市況	6,700	6,700	8,800
	対比	200	200	300

上記金額は1本当りではなく^{m³}当たりの単価です。

「ウッドショック後の展望」について

2月13日に国立研究開発法人森林研究・整備機構の北海道地域研究成果発表会が札幌市で開催されました。この中で、同所北海道支所・地域研究監の島瀬氏が「木材需要を巡る最近の動きと今後の見通し」と題して、ウッドショックの影響や今後の展望について、次のように述べられました。

1. 2021年に生じた木材の極端な不足と価格高騰は、現在は沈静化しているが、なお高水準で、国産材丸太の価格水準が四半世紀前の水準にまで高まっている。
2. これが、住宅建築費の上昇を招き、社会に大きな影響を及ぼしている。問題はこれが今後どう推移していくかだが、完全に戻ることはないと思われる。但し、経済構造の変化がバブル前の日本のGDPが世界の17%を占めたが現在は5%程度であることが懸念。
3. かつて日本は世界最大の丸太の輸入国だったが、他国に買い負ける状況が常態化している。
4. 国産材を使おうとする体制が整いつつある。大型林産工場の建設が全国各地で活発化している。
5. 木材産業はすでに国産材に舵を切っているが、今後の対応が不十分なら、コンクリートや金属など他の素材にシフトする。早急に建築材の「サプライチェーン」を強化することが重要。（サプライチェーンとは、製品の原材料・部品の調達から販売に至るまでの一連の流れのことを指します）

道立北の森づくり学院 1年生2名が現場実習に来組

1月31日～2月3日まで、旭川市の道立北の森づくり学院（2年制）の1年生2名が当組合で現場実習を行いました。学院の方針で2年間の修学期間内に半年以上の現場実習がカリキュラムに組み込まれており、座学では学ぶことができない厳しい冬山での環境の中、組合事業を通じて、木の生育状況を学び、伐採適期、材積の積算方法などを学びました。将来、仲間とともに北海道の林業を支える担い手に期待するところです。



北の森づくり学院生徒の現地での毎木調査実習（2月1日 美唄市山林）

名義変更等の届け出について(お願い)

組合員の皆様には、住所の変更（転居）や所有山林の売却・購入・譲渡・相続等がございましたら、当組合に連絡をお願いします。総会等の郵便物が届かない場合がございますのでご理解願います。特に冬期間のみ転居されます場合は郵便局に「転居届」をお届け願います。

また、当組合の定款、規約の閲覧は可能ですので、ご希望がございましたら、事前にご連絡願います。尚、写し（コピー）は実費をご負担願います。

苗木及びシイタケ原木・ホダ木 価格です



●苗木（1号/1本当り単価/消費税込み）

- ・カラマツ @160円
- ・トドマツ @325円
- ・クリーンラーチ @285円
- ・グイマツF1 @215円
- ・シラカバ @180円
- ・ミズナラ @305円

●シイタケ ホダ木・原木（1本当り単価/消費税込み）

- ・原木 @350円
- ・ホダ木 @680円

●キノコ種駒（1本当り単価/消費税込み）

- ・しいたけ・なめこ・ひらたけ・たもぎだけ・あらげきくらげ・くりたけ
- 各品種共通 @1,620円（1本500個入り）

希望の方は随時、当組合までご連絡願います。尚、数に限りがあるものもございますのでお早めにご注文願います。

（注文先 そらち森林組合本所 ☎0125-76-2051）



不法投棄は犯罪です

ようやく、山も雪解けが進み、山菜取りなどを楽しむ時期が近づいてきました。組合では林道を中心に不法投棄がないか関係機関と巡視をしておりますが、残念ながら、毎年、不法投棄が散見されます。この場合、地元警察、所管市町へ通報いたします。森林所有者の皆様も不法投棄を発見された場合は地元警察に通報ください。当組合では、不法投棄、山火事をはじめ、山菜取りなどでの遭難に対し、未然防止の取り組みをはじめ、林道の巡回も強化しておりますので、組合員の皆様におかれましてもご協力をお願い申し上げます。



当組管下の山林での不法投棄（洗濯機）です。組合では地元新聞社（プレス空知）のご協力を頂き、紙面で不法投棄の防止について、啓蒙をしていただきました。